

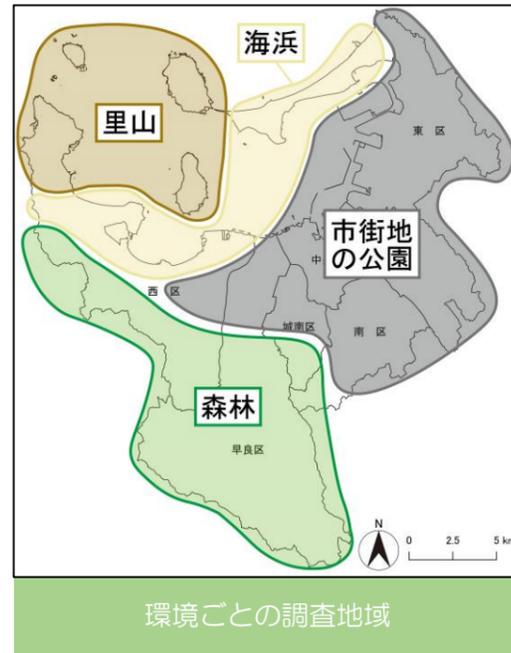
福岡市の自然環境と昆虫類の特徴

■調査の概要

令和6年度に、福岡市の自然環境を代表すると考えられる「海浜」、「里山」、「森林」、「市街地の公園」の4つの環境で昆虫類を調べました。その結果、福岡市から約1,800種の昆虫類がみつかりました。

■福岡市の豊かな環境

福岡市には、特徴的な植物がみられる海浜や、河川や水田、雑木林がある里山、冷涼な場所にしか生育できないブナがみられる標高約1,000mにある森林まで、多様な環境がみられます。海浜がない内陸の市町村や山林がない市町村も少なくない中、福岡市は、豊かな環境に恵まれているといえます。



環境ごとの調査地域

貴重な昆虫

※貴重な昆虫には写真左上に「貴」をつけています。

調査では、最近みられなくなった種や、限られた環境にしかいない種が44種もみられました。

減少傾向にある昆虫のうち、水辺ではカメムシ類のコオイムシ、海浜ではコウチュウ類のオサムシモドキ、草地ではハチ類のヤマトアシナガバチなどがみられました。

このように、貴重な昆虫が多く生息していることは、福岡市に豊かな環境があることを示しています。

水辺の貴重な昆虫



コオイムシ(卵を背負ったオス)



ミズカマキリ



チビマルガムシ



オオトックリゴミムシ



ベニイトトンボ



ムカシヤンマ

貴重な昆虫 (つづき)

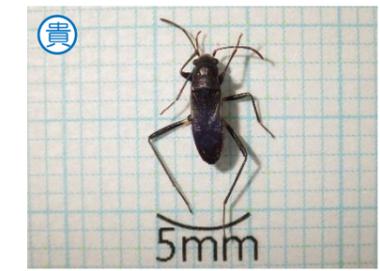
海浜の貴重な昆虫



スナヨコバイ



ハマベツチカメムシ



アシナガナガカメムシ



ニセマグソコガネ



ニセセマルケシマグソコガネ



オサムシモドキ

草地の貴重な昆虫



ヒラタトガリカメムシ(幼虫)



チャイロカメムシ



ヤマトアシナガバチ

外来の昆虫

※外来の昆虫には写真左上に「外」をつけています。

外国や国内の他の地域から運ばれてきた外来種も29種みつかりました。家屋に害を与えるイエシロアリ、農作物を加害するミナミアオカメムシ、サツマイモを加害するヨツモンカメノコハムシなどです。

これらの外来種には人間に悪い影響を及ぼすものもあります。分布を拡大したり、増えすぎないように、また新たな外来種が入ってこないように、日頃から注意しておく必要があります。



イエシロアリ



ミナミアオカメムシ



ヨツモンカメノコハムシ

海浜で見られる昆虫

特徴的な植物がみられる海浜では、地面に巣穴を掘り獲物を待ち構えるアリシゴクの中の仲間コカスリウスバカゲロウ、花にくるチョウ類のモンキチョウ、砂浜で見られるクルマバッタモドキなどの昆虫がみられます。



コカスリウスバカゲロウ(幼虫)



モンキチョウ



ヒョウタンゴミムシ



クルマバッタモドキ



(貴)

ルリキオビジョウカイモドキ



(貴)

スナムグリヒョウタンソウムシ

森林で見られる昆虫

森林では、標高の違いで見られる昆虫が違います。標高の高い森林ではバッタ類で貴重な種のエヒコノササキリモドキ、チョウ類のヤマキマダラヒカゲ、標高の低い森林ではトンボ類のアサヒナカワトンボ、甲虫類のスジクワガタなどがみられます。



(貴)

エヒコノササキリモドキ



ヤマキマダラヒカゲ



キンモンガ



アサヒナカワトンボ



オオミスアオ



スジクワガタ

里山で見られる昆虫

里山には、人の営みで維持されてきた環境がいろいろみられます。ため池ではトンボ類のタイワンウチワヤンマ、草地ではバッタ類のニシキリギリスなどがみられます。里山には、市街地ではみられなくなった昆虫も多く生息しています。



タイワンウチワヤンマ



コシアキトンボ



タイコウチ



ニシキリギリス



マメコガネ



イチモンジセセリ

市街地の公園で見られる昆虫

市街地では、身近な昆虫が多く生息しています。トンボ類のオオシオカラトンボ、カマキリ類のチョウセンカマキリ、カメムシ類で外来種のキマダラカメムシ、チョウ類のムラサキツバメなどをみることができます。



オオシオカラトンボ



ハグロトンボ



チョウセンカマキリ



(外)

キマダラカメムシ



ムラサキツバメ



アオスジアゲハ